

# 令和7年度「定時総会」開催

5月28日（水）、ホテル東日本宇都宮において令和7年度定時総会が開催されました。

昨年度に引き続き、ホテル東日本宇都宮において定時総会及び懇親会を開催し、福田富一知事をはじめご来賓の方々にご祝辞を頂きました。また、表彰式につきましても、滞りなく実施することができました。これは、ひとえに皆様のご理解とご協力の賜物であり、お陰様をもちまして、無事に定時総会を終了することができました。

当日の会場には、定款に定める定足数を大きく上回る319名（委任状による者を含む）の会員の参加をいただくことができ、総会は無事成立いたしました。

冒頭のあいさつで、谷黒会長は人口減少に伴う担い手不足の深刻化、それに伴う処遇の改善や働き方改革など、多くの課題が山積する中、新しい時代にふさわしい「構造改革」をさらに推進し、また公共事業予算の確保や受注機会の拡大、特に、改正国土強靱化基本法に基づく「第一次国土強靱化実施中期計画」において、地域の実態が公共事業予算に的確に反映され、かつ各種事業が確実に具現化し推進されるよう、国・県へ強く働きかけていく。さらに、協同組合とマッチングさせた「群マネ」の導入に向けた検討・協議や県が構想している将来の担い手を育成するための「インフラトレーニングセンター」の実現に向け、積極的に取り組んで参りたいとの抱負を述べました。

次に一般社団法人全国建設業協会会長表彰伝達を行い、受賞された15名を代表して榎大岩建設の岩見武様が表彰状を会長から受け取りました。続いて一般社団法人栃木県建設業協会会長表彰を行い、長年にわたり業務に精励されました121名を代表して榎暁工務店の増渕盛之様が表彰状を会長から受け取りました。

その後、議事に入り、第1号議案「令和6年度事業報告及び計算書類承認の件」、第2号議案「理事選任の件」が原案どおり承認されました。続いて報告事項「令和7年度事業計画及び収支予算の件」の中で、改正国土強靱化基本法に基づく実施中期計画の従来を超える規模での早期策定、労務単価の引き上げなどの要望をはじめ、道路・河川等維持管理業務の共同受注方式の拡充、人材確保・育成に向けた「高校生インターンシップ事業」や「建設業合同企業説明会」、さらにはイメージアップに向けた「建FES GO!」や「とちぎ子どもの未来創造大学」、「マイ・チャレンジ事業」の開催などに取り組んでいくことが報告されました。

また、同日、建設業労働災害防止協会栃木県支部の総会が、また5月30日には栃木県建設産業団体連合会、栃木県建設業協同組合連合会、栃木県土木施工管理技士会、栃木県森林土木建設業協会および全中建栃木の総会が開催され、それぞれ令和7年度の事業計画・予算案等の案件が承認されました。



令和7年度 総会の様子